

Action 020

山守の森再生プロジェクト『森林ツアー“う”の巻』

2011年4月24日（土）



3度の中止を経て、元気一杯に再スタート！

1月、2月は積雪30cmで、そして3月は大地震のため中止といたしました。今必要なのは自分たちにできることを続けていくこととの判断から、再び森の造りなおし活動をスタートさせていただくことにいたしました。

*

さて今回は、ヒノキの苗1,500本を植えていく植林の作業です。参加者は約50人なので、目標はひとり30本。ヘルメットをかぶり、長靴に履き替え、鍬と苗木の入った袋を手に、一行は元気一杯、山へと向かうのであります。



バスを停めた場所から山まで、15分ほど歩いてウォーミングアップ。



山の空気を吸えば、3時間のバスの旅も何のその、みんな元気一杯です。



道端で見かけたタンポポにふきのとう。山は春の香りに満ちてきました。



この山の斜面に1,500本のヒノキの苗を植えていきます。



ヘルメットに長靴、両手に鍬と苗を持って準備完了。



いざ、山へ。

苗を植える際のポイント

伐採や地拵えに比べれば、穴を掘って苗を植えていく植林の作業は考えやすいのですが、それでもいくつかポイントがあります。まず、鍬を使って穴を掘るわけですが、その際の深さとしては、苗の根をたるませることなく植えられる 30 センチ程度が目安となります。そして、上からかぶせる土には、なるべく落ち葉を含ませないようにします。これは、落ち葉が腐ったときに土の中に空間ができないようにするためです。

土をかぶせたら、苗の両脇をしっかり足で踏みつけます。これによって、土の中の空間をなくし、根は水分を含んだ土に効率よく触れることができます。最後に、よけておいた落ち葉で苗の周りを囲えば、土の中の水分が無駄に蒸発するのを防ぐ保湿の効果とともに保温の役目も果たしてくれるというわけです。このように、その場にある自然を上手に利用するのも、昔から行なわれてきた知恵なのです。

こうして植えた苗は、4月から5月にかけて、盛んに地面から水を吸い上げて生長します。ヒノキよ、大きく育て！



班に分かれて作業開始。



急斜面もなんのその。クワで掘っては苗を植えていきます。



植えられた苗。



予定していたヒノキの苗約1,500本を植え終えて全員集合！

お昼の目玉はダッチオーブン料理

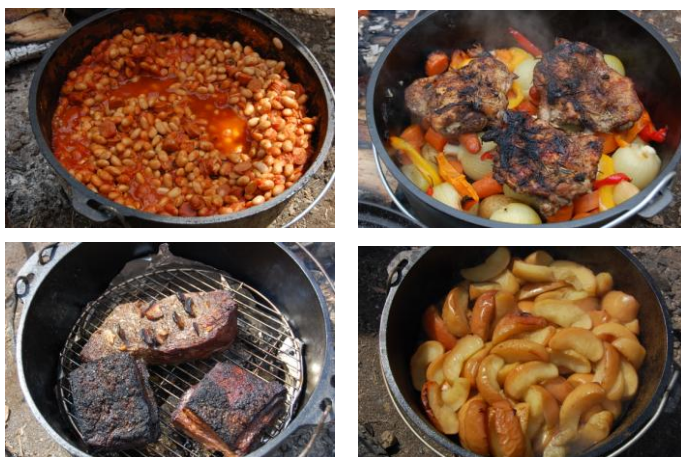
山を降りれば、「働いたあとはみんなで大いに楽しもう」をモットーに、毎回趣向を変えてきたお昼の時間です。

今回の出し物の目玉は、分厚い鍋のふた部分にも炭火を載せられるため、鍋全体の温度が均一に保たれ、食材にじっくり火が通るダッチオーブンをを使った料理です。さらにラム肉や野菜のバーベキュー、採れたての地元産わらびのおひたし、すいとん、そしてダッチオーブン料理には女性陣のリクエストにお応えしてスイーツを用意するなど、今回は特別に盛りだくさん。

みなさん「おいしーい！」を連発し、カットした丸太に焼き印を押して鍋敷きを作ったりしながら、よく晴れた春の1日は暮れていくのでありました。



今回の目玉ダッチオーブン登場。



写真左から、大豆のトマト煮、鶏肉と野菜の蒸し焼き、牛肉と豚肉の薫製、りんごのスイーツ。



恒例の乾杯タイム。今回もお疲れさまでした！



しっかり働いたあとだけに思わず笑顔がこぼれる充実のひとつとき。



丸太をカットして焼き印を押せば、簡単な鍋敷きの出来上がり。

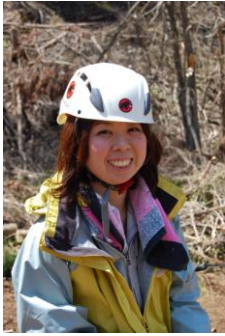


今回参加された女性には、ラッシュジャパンさんのご提供により、
「LUSH」ブランドの石鹸がプレゼントされました。

参加者の声から



● 「以前テレビで見て以来、いつか参加したいと思っていました。思ったよりずっと急斜面での作業で、ちょっと腰が痛くなりましたが(笑)、お土産まであって、ダッチオーブンの料理など、初体験三昧の1日でした」(ぶーにゃんさん)



●「子どもの頃におばあちゃんの家でやったどろんこ遊びを思い出しちゃいました。初めて参加しましたが、植えた苗が何年後かには大きくなるのかと思うと、すごく夢のあることですよね。楽しかったです」(ルミさん)



●「マッサージ師の仕事をしていて、先日は東北の被災地に仲間と行ってきました。少しでも日本が良くなるために、身近なことでもいいので、たくさんの人がボランティアに興味を持ってくれるといいですね」(佐藤りゅうさん)



●「森の中で働くのはすごく楽しいし、友だちと一緒にするのも楽しいです。金融関係の仕事をしていますが、いつも数字との闘いでけっこうストレスを溜め込んでいるので、おかげでリセットされた気がします」(きよんさん)



● 「何か人の役に立つことがやりたくて、ボランティアセンターにパンフレットをもらいに行ったこともあります。友だちを誘って今回2回目ですが、自然に触れて、楽しみながら参加させてもらっています」(AKIさん)



● 「もうちょっと傾斜のゆるやかなところで、形だけやるのかと思っていたのですが(笑)、本格的なので驚きました。でも、山のいい空気の中で身体を動かして、おかげで身体の調子がよくなったみたいです」(石井さん)



● 「手ぶらで参加できて、いろいろ教えてもらえて、ハードすぎないアウトドアが体験できて、満足度高いですね。ボランティアとしてもいいですけど、レクリエーションとして考えてもすごく楽しかったです」(うめざわみきさん)



●「佐久市に住んでいるのですが、雑誌で紹介されているのを見て地元から直接参加しました。学生時代にアウトドア系のボランティア・サークルに入っていたので、こういう活動には昔から興味がありました」(写真右/ゆいさん)

●「私も同じサークルで、今回ゆいさんに声を掛けてもらい、長野市から参加しました。今日、私は 25 本の苗を植えましたが、実際の仕事の方々は 1 日に 300 本も植えると聞き、その大変さがわかりました」(写真左/わかばやしさん)



●「今回の参加者の中ではたぶん私が“最年少”ですね(笑)。送り迎えがあつて、山の仕事が体験できて、お昼にはおいしいご飯が食べられて、これで参加費が 1000 円。すごくいい 1 日の過ごし方ができました」(生駒さん)